



桐生ロータリークラブ週報

2009年

国際ロータリー第2840地区 2008-2009年度 国際ロータリーのテーマ



Make Dreams Real

R.I 会長 李 東 建 (D. K. Lee)

善意というものがないなら
ロータリークラブは唯の社交クラブだ。
職業は金儲けのためでしかなく、
社会奉仕というも施しにすぎず、
国際奉仕は外交以外の何ものでもない。

パストガバナー 前原 勝樹

会長 疋田 博之 幹事 松島 宏明

クラブ会報・広報委員会 大友 一之・竹内 康雄・木村 滋洸・肥塚 俊成

5月11日号

第 2 6 9 2 回例会

(4 月 27 日 (月) 第 4 例 会)

1. 点 鐘
2. ロータリーソング斉唱
3. 来訪者紹介
4. 会長の時間
5. 幹事報告
6. 委員会報告

7. 卓 話 「もっと知りたい?! 動物園」
桐生が岡動物園 園長 小 暮 和 夫 様
齋 藤 隆 浩 様
中 島 里 美 様
8. 点 鐘

ようこそビジター

〈卓 話 者〉 桐生が岡動物園

園 長 小 暮 和 夫 様
齋 藤 隆 浩 様
中 島 里 美 様

〈前 事 務 局 員〉

飯 田 厚 子 様

会 長 の 時 間

前事務局飯田厚子様が生産も1年、今日正式な退職になります。長い間有難うございました。子育て楽しみながらほどほどにがんばって下さい。

桜前線は青森、北海道に行き新緑が綺麗な季節になってきましたが、昨日は北海道では雪が降って大変だったようです。またインフルエンザですが国内では大分落ち着いてきたようですが、メキシコ、カナダ、アメリカで豚インフルエンザが流行してきて思いがけない展開になっています。

ロータリー関係では、18日桐生5RC合同の群大工学部留学生との交流会が開催、また翌日19日には20日の例会を振り替えて、桐生足利地区の渡良瀬川クリーン運動への参加、多くの会員に出席して頂き有り難うございました。昨日26日は家族会旅行にいらして参りました。今回は日曜日開催と言うことでしたが家族会関係28名、会員9名、事務局1名の38名の参加でした。親睦活動委員会の皆さんにはいろいろ

ろお世話になりました。六本木ヒルズでは東京湾からお台場、富士山、等46階から眺め、森美術館により、午後から帝国劇場で「マイフェア・レディー」の観劇、夕方からザ・リッツ・カールトン東京45階での豪華な夜景を見ながらの夕食を楽しみ、帰り予定通り9時半戻りました。いろいろ有り難うございました。



こんにちは。ご無沙汰いたしております。そして、初めましての彩音です。

昨年4月1日から産休・育休をいただき、育児に専念することができました。おかげ

様で、彩音は4月29日(昭和の日)で満1歳を迎えます。日々の成長が目まぐるしく、ママはのんびりしていついていけないままあっという間に1年が

過ぎ去ってしまいました。Big Baby で生まれた彩音は、そのまますくすくと成長し、今では身長80cm・体重11kgと標準グラフを大幅に飛び越え、1歳半のお洋服を着ています。伝い歩きやハイハイで目が離せない毎日ですが、最近では「ママ」と言ってくれるようになり、親バカですが可愛くて仕方がありません。大好きなお散歩には、皆様から頂いたピンク色のベビーカーに乗って出掛けていますので、見かけたら是非お声掛け下さい。

最後になりますが、理事役員の皆様の温かいご配慮により、1年間の育休期間を与えていただきありがとうございます。心より感謝申し上げます。まともりませんが、挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

幹事報告

- 国際ロータリーよりロータリーレートのご案内です。5月レートは、1ドル=98円です。
- 米山記念奨学会より「ハイライトよねやま」が届いております。
- 日本てんかん協会より「からっかぜ」が届いております。
- 桐生市社会福祉協議会より「福祉ぐんま」が届いております。
- 桐生南、桐生西・桐生中央、桐生赤城のRCより週報到着。
- 次週5月4日(月)は祝日の為休会となります。次回例会は5月11日(月)ですので、お間違えのないようお気を付け下さい。
- 2780地区副幹事・足柄RC長谷川君より、東京RCより分けた月桂樹の孫の樹が桐生RCで育てていることをガバナー月信に使いたいということで、月桂樹の写真と例会風景を撮影し、その際のお礼状が届いております。

委員会報告

出席委員会

本日の出席(平成21年4月27日):総員66名・出席42名
平成21年4月6日例会修正出席率:93.0%
平成21年4月13日例会修正出席率:80.0%

ニコニコボックス

村田勝俊君…本日の卓話に桐生が岡動物園の皆様をお迎えして/坂入 勝君…出席100%/藤井征夫君…渡良瀬川クリーン運動ありがとうございました。/正田博之君…昨日は、家族会で親睦活動委員会の皆様に大変お世話になりました。

米山奨学委員会

竹内靖博会員 ¥4,000

ロータリー財団委員会

竹内靖博会員 ¥60,000

卓話



「もっと知りたい?! 動物園」

桐生が岡動物園

園長 小暮 和夫様

斎藤 隆浩様

中暮 和夫様



《桐生が岡動物園の紹介》

桐生が岡動物園は市街地北部に位置し、桐生が岡遊園地と隣り合わせて設けられています。

自然の中の動物園として春の花見、夏の緑陰、秋の紅葉、冬の展望と四季を通じて楽しめるため、多くの市民から親しまれています。

また、年中無休、入園無料の施設として市外や県外から訪れる人も多く、幅広い人気を得ています。



開園 昭和28年4月1日(日本動物園水族館協会加盟)

所在地 桐生市宮本町三丁目8番13号

開園時間 午前9時から 午後4時30分まで

面積 41,000㎡

所属 桐生市 都市整備部 公園緑地課

主要施設 フラミンゴ池、シカ・ムフロン・ヤギの放飼場、サル山、クモザル舎、ポニー舎、ウサギ舎、ゾウ舎、ペンギン舎、キリン舎、シマウマ舎、カンガルー舎、キジ舎、ハト舎、ライオン舎、水族館、こどもどうぶつコーナー、水鳥池

《桐生が岡動物園の年間主要行事》

動物園では、自然や環境、動物の正しい知識とその関わり方などを広く知っていただくため、各種の教育普及活動を行っています。

(1)動物愛護に関する標語募集…7月1日から31日まで(一般来園者)

(2)動物画コンクール…夏休み中(市内保育園、幼稚園、小学校)

(3)動物園一日飼育員…8月上旬(市内の小学校6年生)

(4)動物慰霊祭…9月中旬(一般来園者)

《桐生が岡動物園のあゆみ》

明治中期から個人の庭園として開発が始まり、大正5年に当時の桐生町に敷地が寄付され、私立公園から町立公園になりました。

大正10年には公園内で市制施行記念式典が行われ、2千人もの人々が集まり、市制施行を祝いました。

この頃から動物園としての整備が進み、鶏舎、サル舎、クジャク舎、トビ舎、シカ舎などが建設され、昭和28年4月1日『桐生ヶ岡公園動物園』として日

本動物園水族館協会へ加盟し、正式に動物園として開園しました。

(飼育点数33種81点)

以来、桐生のシンボリックな施設として広く親しまれ、昭和39年に入園したゾウのイズミは市民の皆様から4世代に渡って愛され続けています。

平成4年4月、『桐生が岡動物園』に名称を変更し、平成20年4月に開園55周年を迎えました。

(飼育点数110種 806点 平成21年3月1日現在)

《開園55年のあゆみ》

昭和

28年4月 日本動物園水族館協会への加盟により『桐生ヶ岡公園動物園』として開園。飼育点数33種81点。

30年8月 児童動物画コンクール開催(以降、毎年開催)。

33年8月 街頭テレビを園内に設置(市内で2番目)。

37年6月 フンボルトペンギンが初入園。

39年4月 アジアゾウが初入園(イズミ)、6月にゾウ舎が完成(27年使用)。

9月 ライオンが初入園。

43年1月 園内に水族館を開設。

46年4月 『桐生が岡遊園地』開園。

48年3月 南門が完成。

49年11月 北門が完成。

50年3月 フラミンゴ2種が初入園。

7月 沖縄海洋博開催にちなみ、水族館内で海水魚の飼育展示を開始。

51年3月 サル山が完成。動物の脱出防止フェンスが完成。

12月 フラミンゴ池が完成。

54年5月 群馬県と傷病鳥獣保護管理委託契約を締結(以降、毎年契約)。

55年8月 動物園一日飼育員開催(以降、毎年開催)。

62年5月 傷病鳥獣保護の功績によって、群馬県から表彰される。

63年10月 水族館の魚が繁殖。日本動物園水族館協会から繁殖賞受賞。

平成

3年6月 現在のゾウ舎が完成 アジアゾウ(イズミ)が旧舎から移動。

4年4月 『桐生が岡動物園』に名称変更。

11月 疾病動物隔離舎が完成。

5年4月 キリン、シマウマ、カンガルーが初入園。

6年4月 こどもどうぶつコーナーが完成。

15年4月 開園50周年記念事業として、新ペンギン舎が完成。

19年10月 群馬県環境賞環境功績賞 受賞。

20年4月 開園55周年を迎える。飼育点数116種767点。

9月 市民文化会館で関東東北ブロック動物園技術者研究会を開催。

21年2月 女神像前広場にヘリコプター設置。

3月 開園55周年記念事業として、クモザル舎、リスザル舎が完成。

【動物園の役割】

動物園は大きな動物、珍しい動物、姿の美しい動物等、たくさんの動物を飼育していますが、ただ動物を集めて飼っているだけでは、『動物園』とはいえません。

日動水協に加盟する動物園には、大きく分けて『4つの役割』があります。

- ① 教育
- ② レクリエーション
- ③ 自然保護
- ④ 研究

① 教育

動物園は実物教育の場であります。

目の前にいる『生きている動物』は、テレビや図鑑で見るとは異なり、大きさ、形、しぐさ、鳴き声、におい等が分かり、誰もが楽しみながら学習することができます。そして、解説板を読むことによって、飼育されている動物の正しい名前や分類も分かり、『科学的な目』を養うことができます。また、絶滅の危機に瀕する動物の生活情報を得ることは、地球環境への関心を高めるところでしょう。

多くの動物園では自然や環境、動物の正しい知識や関わり方等を広く知っていただくため、各種の行事を行い、教育普及活動に努めています。

桐生が岡動物園でも、園としての行事のほか、市内の団体や幼稚園、教育委員会の依頼に応じて様々な教育活動を行っています。

② レクリエーション

動物園は老若男女の区別なく、誰もが楽しめるレクリエーションの場です。

その上、『楽しみながら学べる場』であるために、動物園の来園者数は他の文化施設に比べ、圧倒的に多いのが世界的な傾向です。

桐生が岡動物園は年中無休、入園無料で開園しているため、気軽にいつでも利用できます。園を訪れる人々は、動物に対する興味と、屋外に出掛ける事の両方を同時に享受でき、隣接する桐生が岡遊園地と併せて利用することによって、一日を楽しく過ごせます。遠方から訪れる人も多く、市外、県外の人たちからも広く親しまれ、年間30万人を超える来園者で賑わっています。

③ 自然保護

近年、急速に失われつつある自然を保護することは、大切な役割の一つです。

動物園に求められる自然保護は『飼育下における希少野生動物のしゅ種の保存』です。

平成4年(1992年)にブラジルで開催された地球サミットで「生物の多様性に関する条約」が採択されました。これに基づき、日動水協では『しゅ種保存委員会』を設け、絶滅のおそれのある動物を動物園で残してゆく取り組みとして、親子間や兄弟間で子供を作らず、血縁のない者同士で繁殖させ、その後も一箇所に同じ兄弟が集まらないようにする努力が進められてきています。

この先、環境破壊や異常気象などで自然界の種が絶滅してしまっても、その種にふさわしい環境を回

復できたとき、動物園から自然界に戻すことができるような努力が重ねられており、これは動物園に果せられた重要な使命と言えるでしょう。

桐生が岡動物園では群馬県に協力して、ケガや事故で救護された野生動物の保護活動を行っています。時間、労力ともに大変ですが、自然が失われつつある現在、野生動物の保護は重要な活動です。これは、桐生市が運営する施設だからこそ請け負える仕事で、営利を目的とする会社では成立が難しいでしょう。時間、労力ともに大変ですが、自然が失われつつある現在、野生動物の保護は重要な活動です。当園では、野生鳥獣の保護に関する啓蒙活動も併せて推進しています。

④ 研 究

動物の研究は未知の分野が多くあります。

野外での調査は多くの時間と労力が必要となりますが、動物園では、研究対象とする動物が『目の前にいて、いつでも対応できる』という利点があります。

動物園の職員が行う研究は、展示の工夫や日常の観察を通し、その成果をまとめるものが主体です。当園では、平成20年に桐生市市民文化会館で関東東北地区の『動物園技術者研究会』を開催し、参加した飼育員が多くの研究成果を発表しました。

また、動物園は他で求めることが困難な研究対象物を数多く所有しているため、様々な機関に協力しています。

死亡した動物を博物館や研究機関へ提供する場合もあり、博物館では剥製や骨格標本にして展示され、研究機関では、出生から死因までの記録が揃った貴重な研究材料として役立てられています。



家 族 会 旅 行



4月26日(日) 六本木ヒルズ・森美術館・帝国劇場『マイ・フェア・レディー』



* お 知 ら せ *

【次回例会予告】 5月18日(月) 早朝例会 ・ 点 鐘：午前7時 ・ 場 所：鳳仙寺